

# 福岡市議会史 第2巻 大正編 [目次]

はじめに	1	第十二章 市政調査会の設置	541
第一章 市制改正と市会	9	第一節 建議案の可決	541
第一節 改正市制の要点	9	第二節 調査委員及び囑託員設置規程の可決	544
第二節 市会議員選挙区条例の改正	25	第三節 市是の確立と市政調査会	554
第二章 市会議員選挙当選無効の申立と市会の決定	39	第十三章 大築港計画の展開	559
第一節 市公民資格及び候補者氏名誤記問題	40	第一節 博多湾築港株式会社の発足とご折	560
第二節 選挙人の級別問題と請負業の範囲問題	58	第二節 博多港の整備	574
第三節 財産区会議員選挙一部無効の申立と市会の敗訴	68	第三節 大博多港築成計画	591
第三章 隣接町村の合併	73	第十四章 道路と下水道	611
第一節 警固村の合併	75	第一節 道路、橋梁	611
第二節 豊平村及び住吉町の一部編入	88	第二節 下水道	640
第三節 鳥飼村の合併	98	第三節 博多川改修問題	652
第四節 西新町の合併	112	第十五章 都市計画	667
第五節 住吉町の合併	123	第一節 都市計画の指定	667
第六節 八幡村の合併	135	第二節 西南部耕地整理	679
第四章 財政規模の膨張	143	第三節 松原地区整理	698
第一節 予算、決算の審議	153	第十六章 電気事業と市会	705
第二節 一般会計の歳入歳出の推移	223	第一節 九水、九鉄の合併問題	705
第五章 市税の変遷	263	第二節 電車、電燈市営計画の推移	713
第一節 国税付加税	263	第三節 電燈料金値上げ反対運動	734
第二節 県税付加税	270	第四節 電気軌道の伸長	741
第三節 特別税	294	第十七章 伝染病対策と環境衛生の整備	757
第六章 福岡市政刷新会事件	303	第一節 伝染病対策	757
第一節 刷新会の発足	303	第二節 荒津病院移転問題と結核療養所の設立	778
第二節 市会と刷新会	308	第三節 汚物掃除負請制の市直営移行	792
第三節 騒擾事件の突発	313	第四節 火葬場の整備	806
第七章 米騒動と市会	317	第十八章 勸業対策と市会の要望	819
第一節 福岡市近郊の動き	317	第一節 勸業費の内容	819
第二節 福岡市の対策	323	第二節 博多織同業組合補助と県工業試験部の発足	824
第八章 党派の対立抗争—市会議員選挙と市長選挙	333	第三節 航海補助の推移	826
第一節 佐藤市長の辞任	333	第四節 その他の勸業策	831
第二節 市会議員連袂辞職事件と補欠選挙及び定期選挙	346	第五節 共進会と博覧会	842
第三節 「不法市会」問題と久世市長の就任	353	第六節 産業政策確立の要望	853
第四節 定期、増員両市会議員選挙と久世市長の再選	367	第十九章 消費生活の防衛	859
第五節 目まぐるしき市長の交替	374	第一節 市営住宅	860
第六節 時實市長の就任	390	第二節 公設市場	872
第九章 新市庁舎の建築	411	第二十章 教育、文化施設の拡充	883
第一節 建築資金の積立	411	第一節 初等教育施設の整備	883
第二節 落成	417	第二節 市立学校の授業料問題	911
第十章 行政整理	427	第三節 福岡商業学校の移転改築と県営移管問題	923
第一節 建議案の可決	427	第四節 社会教育	934
第二節 行政整理問題の推移	431	第五節 県立、国立学校整備への協力	942
第十一章 上水道の完成	441	第六節 通俗博物館、記念館の開設	948
第一節 布設予算の更正と水道公債条例	441	第二十一章 余録	959
第二節 「曲淵水源地」の決定と水道委員	453	資料 一. 市制(大正十年法律第五十八号)	981
第三節 水源地買収と水利権補償	464	二. 市制(大正十五年法律第七十四号)	1017
第四節 設計の変更	474	三. 名簿	1055
第五節 布設予算の大幅増額と工事施行期間の再延長	480	1 歴代議長および副議長	1055
第六節 東中洲漏水事件	490	2 市会議員	1055
第七節 最終予算と工事施行期間の再々延長	503	3 名誉職参事会員	1066
第八節 最後の紛糾	510	四. 福岡市会年表	1069
第九節 一部通水から完成	518		
第十節 給水条例と水道使用の勧誘	524		